

ポスター作成について

ポスターの構成は自由ですが、いくつか守っていただきたい点があります。下に示すポスターを例にご説明します。

841 mm

1189 mm

XX噴霧によるイネのZZストレス獲得と生育への影響

Y澄 T, H田 R, T橋 S 群馬県高崎?? 高校

結言

イネは主要な穀物であり、-----。今後、温暖化により引き起こされるZZストレスで収量の低下が予想される¹⁾。XXはZZストレス低減に効果があるという報告があるが、イネへの応用は報告されていない。本研究では、イネへXXを散布することで、ZZストレス低減の効果と、生育への影響を調査した。

材料および方法

植物材料: イネ(日本晴)を実験に供試した。イネ種子は70%エタノールで滅菌した後、培養土(赤玉土3と黒土6)へ播種した。生育は25°Cに設定したビニールハウス内で行った。
XX処理: 発芽後2週間の幼苗に対して、2% XXをスプレーで噴霧した(図1)。その後、2週間生育させ、ストレス処理を行った。
ストレス処理: 発芽後4週間の幼苗をzz環境下に移し、生育させることで、ZZストレスに暴露した。

結果および考察

XX処理が生育にどのような影響を与えるのか明らかにするため、XXを噴霧した幼苗をストレスに暴露せず、2週間生育させた。生育は処理した幼苗の背丈を測定した。処理した個体では明確な生育阻害が認められた(図2)。次に、ストレスへの影響について調査を行った。ストレス環境下で2週間生育した幼苗の背丈を測定した。

図2 XX処理した幼苗の生育

処理	背丈 (cm)
無処理	30
XX処理	25

図3 ZZストレス環境下で生育した幼苗の生育

処理	背丈 (cm)
無処理	35
XX処理	40

ストレス環境下ではXX処理した幼苗草丈が、無処理の幼苗に比べて高い結果となった(図3)。ストレス環境下では、無処理の幼苗はほとんど成長していないのに対し、XX処理した幼苗ではストレス処理前と比較して1.7倍となった。このことは、XX処理はZZストレス耐性を付与していることを意味する。しかし、通常的环境下ではストレス耐性を獲得することで、

正常な生育が抑制されることが考えられる。そのため、XX処理はストレス環境が生じる直前に行う必要がある。イネは種子の収量が重要である。収穫はコンテストに間に合わなかったが、引き続き収量調査まで試験を継続する予定である。

参考文献1) Soda et al., 2018 Sci. Rep.

← **タイトル**

← **作成者所属**

← **研究に関する内容**

← **研究に関する内容**

← **参考文献**

- ①サイズ: A0 (1189 mm x 841 mm)で**縦**に印刷されることを想定して作成して下さい。A4で作成しても、縦横の比率はA0と同じなので問題ありません。
- ②タイトル: タイトル、作成者とその所属は必ず記載して下さい。これらが記載されていれば、様式は自由です。
- ③研究に関する内容: ここは自由ですが、項目ごとに分かれていると見やすい印象があります。この構成は、作成者のアイデア次第です。良い研究をより良く説明するために重要なポイントです。
- ④参考文献: 参考にした論文・本などがあれば、出典を明記して下さい。

注) 左の作例は、文字が多すぎて見難いポスターです。一般的に、文字は少なく、結果の図などが大きいポスターが良いものと考えられています。また、コンテストの締め切り(9月中旬)までに全ての結果が得られない場合でも、何らかの結論が出せるのであれば、途中の結果でポスターを作成し、ぜひコンテストにご参加ください。